

とちぎ夢大地応援団活動報告（10月20日実施）

日光市文挾地区

「夢大地グランドワーク in 文挾―ため池及びその周辺の環境整備活動―」

「夢大地グランドワーク in 文挾」が10月20日、日光市文挾町の文挾ため池及びその周辺で、夢大地応援団員7名と地元自治会員60名（内10名は賄いの婦人会員）が参加して行われました。

当日は、日中の悪天候が予想されたため、地元自治会の人たちは早朝から一部の作業を進めており、応援団員が揃った8時半から開会式を行い、小曾根文挾ため池ふれあいの里協議会長らのあいさつのあと、再び作業を再開しました。

当初の応援団の申込者は10名でしたが、雨の影響で3名が欠席になりました。7名の応援団員は、冷たい雨が降るなか、ため池脇にある圃場（晴れていれば小松菜の種をまく予定でした）の畦畔の草刈りを行いました。傾斜地でありきつい作業でしたが、地元の人からは「応援団の人は草刈りが上手で手際がいいね」とおほめの言葉をいただきました。

雨天のため予定より1時間早く作業を終了し、近くの集落センターに場所を移して昼食・交流会を行いました。

昼食は、婦人会員が地元の食材だけで作ったおにぎりと豚汁が振る舞われ、とくにあったかい豚汁はお代わり者続出でした。

交流会では、前会長の近藤さんが文挾ため池の歴史を説明しました。二宮尊徳が地区の田畑を潤すために大谷川から水を引いたこと、平成17年に現在のため池に整備されたこと、20年から夢大地応援団がスタートしたこと、などが写真を使って説明され、参加者は興味深げに話を聞いていました。

交流会のあと、来年の再会を約束して解散しました。



悪天候のなか頑張った参加者



開会式



地元の人たちは早朝から池周辺の草刈りを行っていました



応援団員は傾斜のある圃場畦畔の草刈りを行いました



昼食はおにぎりとあったかい豚汁



交流会では文挾ため池の歴史が語られました